

2023年12月12日

市民参加部会 依田いづみ

船橋市市民活動サポートセンター令和5年度市民交流参加事業として開催した「カタカナから見える英語の世界」講演会について以下のように実施報告書を作成した。

1. 実施概要

日時：2023年9月17日（日）14:00～15:30（90分）

題名：「カタカナから見える英語の世界」

副題：市民活動を豊かにする英語コミュニケーション

講師：西蔭浩子先生（大正大学名誉教授）

会場：船橋市市民活動サポートセンター

目的、内容：新型コロナの5類への移行、外国人観光客、外国人就労者の増加などの影響で身の周りに外国籍の人が増えてきたタイミングで英語コミュニケーションに目を向けたレッスン型講演会を開催した。和製英語を通して見ると日本の文化、英語がよくわかり市民にとって外国籍の人達への理解、交流に役立つものとなった。

応募者数：59名（一般の方22名、活動団体所属37名）

当日参加者数：49名（一般の方20名、活動団体所属29名）

2. 事前告知活動

サポートセンターを利用する団体ばかりでなく一般市民の参加を促すためにできる限り広く広報、告知活動を行った。

1) 告知掲載、PR活動実績

広報ふなばし（2023年8月15日掲載）

しみんりょく（2023年9月号、2023年12月号）

市民力発見サイト（ブログ）告知とリマッダー

外部媒体として：ちいき新聞（8月11日船橋北、船橋中央、船橋南、船橋西、船橋東、市川、八幡、鎌ヶ谷、習志野、習志野西、津田沼 計11版掲載）

2) チラシ配布、掲出先

公民館、図書館、市民活動サポートセンター利用登録団体へ郵送など

3) その他、市民参加部会委員によるメール、SNSによるPR活動をおこなった。

3. アンケート結果からわかったこと（別添アンケート参照）

1) 参加者の年代は、70歳以上61.4%、50～60歳代36.4%、つまり97.8%が50歳代以上であった。

2) ほぼ半数の人は、ボランティア活動をしていない人であった。

3) 広報ふなばしを見て参加した人が最も多く、次に知人友人から、その次は、ちいき新聞が多かった。

4) 講演会に対する満足度は、大変満足 48%、満足 43%で、91%の方が満足して下さった。自由記載では、よかった、わかりやすかった、面白かった、続編を希望するなどがあつた。また、積極的に広報などで発信してほしいなどの意見が得られた。

4. 今後の検討課題

1) 参加者のキャンセルについて

応募者59名のうち、10名の方が不参加だった。約17%である。限られた会場スペースで定員を決めているので、キャンセル者数は大きな問題である。対策として開催日前にリマインダーを発信しているにもかかわらずキャンセルが出ることをあらかじめ想定しておくが必要になる。通常無料のイベントのキャンセルは、20~30%くらいともいわれていることも知っておくとよいと思われる。

2) 機器について

- ・ピンマイク：女性が使用する場合、ベルト、ポケットに差し込むタイプのピンマイクは、使えない場合があるので他の形のものを用意するよう注意する。
- ・ビデオ：動画を撮って記録として残し、今後のPR活動に使用する予定だったが收音が悪く動画は使えなかった。できれば性能の良い機器を用意する。

3) 応募者の個人データを今後の情報告知に有効に利用していくべきであるという問題については、個人情報の扱いの問題であり難しい点も多いので今後の検討課題とする。

5. 総括、所感

これまでのサポートセンターでのイベント開催経験によって会場環境の特徴がわかり、特に音関連についてはクレームが減った。ある一定の利用環境を整えることができた。今後の様々な形でのイベント開催の可能性が広がったと言える。また、学術系の講演会としては、多数の参加者と高い満足度を得たこと、一般市民の参加者が増えたことなどを考えるとサポートセンターと市民がつながる機会を創出するために一定の役割を果たしたと言える。今後は、50歳以下の世代へのアピールと単発の講演会からコースでの講習会、ワークショップ開催へと展開されることが期待される。



講演会当日：会場いっぱいの参加者